

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 1 年 9 月 12 日 (2019.9.12)

【公開番号】特開 2019-126564 (P2019-126564A)
 【公開日】令和 1 年 8 月 1 日 (2019.8.1)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-031
 【出願番号】特願 2018-10284 (P2018-10284)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 7 月 18 日 (2019.7.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

設定値に応じた制御を実行可能な遊技機であって、
設定値を変更可能な設定変更許可状態に制御可能な設定変更制御手段と、
設定値を確認可能な設定確認状態に制御可能な設定確認制御手段と、
前記設定変更許可状態の制御の開始に対応して特定信号を出力可能であり、前記設定確認状態の制御の開始に対応して前記特定信号を出力可能な特定信号出力手段と、
前記特定信号が出力される期間に関する値を設定する出力期間設定手段と、を備え、
前記出力期間設定手段は、前記設定変更許可状態に制御される場合と前記設定確認状態に制御される場合とで所定値を共通に設定可能であり、
前記特定信号出力手段は、前記設定変更許可状態及び前記設定確認状態の何れかの制御の終了に対応して、少なくとも前記所定値に対応した期間が経過するまで前記特定信号を出力する
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

特許文献 1 に示すように、複数段階の設定値を外部からの設定変更操作に基づいて変更する設定変更手段を備える遊技機が提案されている。また、特許文献 2 に示すように、主制御基板の外部出力端子から、「大当たり信号」等が出力される遊技機が提案されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

【特許文献 1】特開 2 0 1 0 - 2 0 0 9 0 2 号公報（段落 0 0 0 7）

【特許文献 2】特開 2 0 1 4 - 2 0 0 5 0 6 号公報（段落 0 1 0 2）

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

特許文献 1 に記載されたような遊技機に関しては、設定値の変更等の際に、設定に関連する制御状態を外部装置側で把握することが必要となる場合があるが、特許文献 2 に記載されている従来の遊技機の信号出力技術を適用しても、外部装置側でこれを把握することが困難であるという課題がある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

この発明は、上記の実状に鑑みてなされたものであり、設定に関連する制御状態を遊技機外部に適切に通知可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、

設定値（大当り判定用乱数の範囲が異なる設定値 0 ～ 5 の 6 段階）に応じた制御（特別図柄プロセス処理における大当り判定処理等）を実行可能な遊技機（パチンコ遊技機 1）であって、

設定値を変更可能な設定変更許可状態に制御可能な設定変更制御手段（ステップ S 2 1 T M 4 5 3 0 ～ステップ S 2 1 T M 4 6 2 0 を実行可能な遊技制御用マイクロコンピュータ 1 0 0）と、

設定値を確認可能な設定確認状態に制御可能な設定確認制御手段（ステップ S 2 1 T M 4 5 3 0 ～ステップ S 2 1 T M 4 5 7 0 及びステップ S 2 1 T M 4 6 5 0 を実行可能な遊技制御用マイクロコンピュータ 1 0 0）と、

前記設定変更許可状態の制御の開始に対応して特定信号を出力可能であり、前記設定確認状態の制御の開始に対応して前記特定信号を出力可能な特定信号出力手段（ステップ S 2 1 T M 4 5 6 0 でセキュリティ信号を出力する遊技制御用マイクロコンピュータ 1 0 0）と、

前記特定信号が出力される期間に関する値（セキュリティ信号タイマの値）を設定する出力期間設定手段（セキュリティ信号タイマの値をセットする遊技制御用マイクロコンピュータ 1 0 0）と、を備え、

前記出力期間設定手段は、前記設定変更許可状態に制御される場合と前記設定確認状態に制御される場合とで所定値を共通に設定可能であり（ステップ S 2 1 T M 4 7 1 0 でセキュリティ信号タイマの値として 1 秒を設定し）、

前記特定信号出力手段は、前記設定変更許可状態及び前記設定確認状態の何れかの制御の終了に対応して、少なくとも前記所定値に対応した期間が経過するまで前記特定信号を出力する（設定確認モードの終了に伴い設定確認モードの終了から 1 秒が経過するまでセキュリティ信号を継続して出力し、設定変更モードの終了に伴い設定変更モードの終了か

ら 30 秒が経過するまでセキュリティ信号を継続して出力する)

ことを特徴とする。

これによれば、設定に関連する遊技機の状態を外部装置に適切に通知できる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(1) 本願の他の発明の遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態 (例えば大当り遊技状態) に制御可能な遊技機 (例えばパチンコ遊技機 1) であって、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出 (例えばリーチ演出) を実行可能な示唆演出実行手段 (例えば演出制御用 CPU 120) と、

前記示唆演出に対応したタイトルを報知可能なタイトル報知手段 (例えば演出制御用 CPU 120) と、を備え、

前記タイトル報知手段は、前記示唆演出の開始から所定期間経過したときに当該示唆演出に対応したタイトルを報知可能である (例えば図 8 - 2 (D)、(F))。

このような構成によれば、演出効果を高めることができる。

(2) 上記 (1) の遊技機において、

前記示唆演出実行手段は、複数種類の前記示唆演出を実行可能であって、

複数種類の前記示唆演出において、前記所定期間内の演出の少なくとも一部は共通の態様で実行可能であるようにしてもよい (例えば図 8 - 2 (C))。

このような構成によれば、いずれの示唆演出が実行されるかに注目させることができ、興趣が向上する。